

平成29年度東京都立南平高等学校 学校経営計画

校長 吉田 寿美

【校訓】 「正しい理念」「希望と意志」「行動と反省」

- 【教育目標】 1 自立した個人としての成長をめざし、自主自律の精神を実践する人を育てる。  
2 有為な社会人をめざし、正義を愛し人権を重んじ自他を深く愛する人を育てる。  
3 平和的な国際人をめざし、奉仕と連帯の精神を実践する人を育てる。

## 1. 目指す学校像

### 「高い志を抱き、真摯に取り組み、進路を切り開く」

本校は、創立以来「学び」の基本として、2つのシンボルを掲げてきた。1つは、ギリシアのデルフォイにあったアポロン神殿の玄関の柱に刻まれていた「GNOTHI SEAUTON」（汝自身を知れ）という言葉であり、もう1つは、自主自律の精神を培う「ノーチャイム制」である。

自己の理想に向けて、自己を謙虚に見つめ、自己を磨き続ける生徒を育てることが、2つのシンボルに掲げられた願いである。

## 2. 中期的目標と方策

目標(1) 新学習指導要領改訂や本校の教育理念・実態をふまえ、適切な教育課程の編成・管理・運営を行う。

- ① 28年度開始の教育課程を踏まえ、新学習指導要領を見据え、教育課程の編成・管理・運営を行う。
- ② 生徒の学力状況に基づき各教科で作成した「南平高校学カスタンダード」の達成に向けて、各教科で指導プログラムの更なる改善を進め、全体の層の引き上げを図る。
- ② 言語能力の向上を図るため、読書活動や言語活動の推進など多様な取組を展開する。
- ③ 体育の授業を中心に、生徒の体力及び運動習慣を把握し、体力・運動能力を向上させる。
- ④ 学習課題に応じた個別指導及び組織的な補習・講習等の学習支援体制の充実を図る。

目標(2) 望ましい職業観、勤労観の形成を図りながら適切な進路選択を促すと共に、現役進学率の向上と国公立大学や難関私立大学への合格実績の向上を図る。

- ① 3年間の進路指導計画に基づき、進路指導部主導による組織的・計画的な進路指導を行う。
- ② 学校全体で、自学自習の定着に取組み、学習時間の確保を図る。
- ③ 生徒が自己の適性を見極め、進路情報を活用し、納得のいく進路選択を行えるよう支援する。
- ④ 進路講演会、講習、最新の進路情報の提供、大学との連携強化、面談等による、進路実現支援体制の強化を図る。

目標(3) 心知体のバランスがとれ人間的魅力があり、自主自律の精神に基づき自己管理ができる生徒を育成する。

- ① 学習、部活動、委員会、学校行事に全力で取り組ませ、人間性を磨き心身を鍛える。
- ② ノーチャイム制の理念を基礎に、日常行動の自己管理能力を高める指導を行う。
- ③ 学校保健計画に基づき、健康と体力の自己管理能力を高める指導を行う。
- ④ いじめや体罰のない生徒の人権が尊重される学校環境作りを更に推進する。

目標(4) 生徒・保護者・地域の人々に理解され信頼される学校を目指す。

- ① 地域及び関係機関と連携した防災教育やボランティア活動を推進し、社会に貢献できる能力と精神を育成する。
- ② 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、各教科・特別活動で、オリンピック・パラリンピック教育を行う。
- ③ 生徒による授業評価、学校評価を更に活用し、学校改善を進める。
- ④ 学校全体の広報活動を活性化し、生徒・保護者・地域の方々の学校への信頼感を更に深める。

### 3. 今年度の取組目標と方策【数値目標】

(1) 学力向上「わかるからできるへ、授業の質の保証」	
今年度の取組目標	方策
<p>ア、すべての生徒の学力・体力向上を目指し、組織的・計画的な学習指導体制の充実を図る。</p> <p>教科主任会 教科会 総務部 教務部 生活指導部 進路指導部 教科書選定委員会 言語活動推進委員会 図書館運営委員会 オリンピック・パラリンピック教育委員会 教育課程委員会 特別支援教育に関する委員会</p>	<p>① 教科担当者は、科目担当者間で「生徒による授業評価」結果を活用し授業改善を行い、授業目標の明示、大学入試・模試を意識した内容、知的好奇心を刺激し自己学習へつながる授業、適切な小テスト・課題を行い、「南平高校学力スタンダード」を達成し、全体層の引き上げを行う。 【生徒による授業評価：肯定的評価 85%以上】 【外部模擬試験（年度末） 同一学年のデータ前年度偏差値以上】</p> <p>② 教科担当者は、読書活動、発表（口頭・文章）、定期考査での記述力、論述力を図る問題作成の機会を作り、言語活動の充実を図る。 【読書未読率0%】</p> <p>③ 教科担当者は、「オリンピック・パラリンピック教育」を、年間授業計画に位置付けて取り組む。 【全ての教科によるオリンピック・パラリンピック教育の実施】</p> <p>④ 公民科の授業では、主権者教育を推進する。</p> <p>⑤ 保健体育科の授業では、統一体力テスト結果を分析し、コーディネーショントレーニング等により体力を向上させる。【体力テスト全種目全国平均以上】</p> <p>⑥ 教科特性及び習熟度に応じたグループ編成を行い、定点観測による再編成も行う。</p> <p>⑦ ユニバーサルデザインの観点から、個別の支援が必要な生徒に対応する。</p>
<p>イ、教科主任会を中心とした組織的・計画的な教科会での研修活動の充実を図る。</p> <p>教科主任会 教科会 学年 教務部 進路指導部</p>	<p>① 教科主任会・教科会・学年会で、定期考査・模試・課題テスト等による個々の生徒の学力習熟度、学習状況を共有し、個々の生徒の進路希望実現に向けて対応する。 【センター試験得点全科目で全国平均以上】 【センター試験受験科目得点 75%以上 24%】</p> <p>② 教科主任会を中心に、教科会で、先進校視察・研修によるアクティブ・ラーニングの活用、ICT機器等の活用、指導方法等の情報交換等により、主体的で深い学びを目指した研修活動を実施する。【教科主任会・教科会月 1～2 回】</p> <p>③ 教科担当者は、学校内外の授業参観、教職員研修センター及び国地歴公民数理英の 5 教科の予備校研修に参加し、自己の授業改善に役立てる。 【全教員】</p>
(2) 進路実現「高い志に向けてチャレンジさせる指導」	
今年度の取組目標	方策
<p>ア、進路指導部が、教科・学年と連携し、計画的・組織的なキャリア教育を推進し、生徒の進路実現を図る。</p> <p>進路指導部 教科主任会 教科会 学年 総務部</p>	<p>① 進路指導部が、学年・教科主任会と連携し、長期休業中の補習・講習を取りまとめる。夏季は5月中旬まで、冬季は11月下旬、春季3月上旬までに講座の内容と日程を、生徒に提示する。【全教員 年間1講座（2時間×5日間）以上】</p> <p>② 進路指導部と学年・教科主任会が連携し、自己管理能力育成を目指した学習記録表の記入の定着により自主学习時間の増加を目指す。 【1年生平均80分、2年生平均95分】</p> <p>② 進路指導部が主導し、3年間のキャリア教育年間指導計画に基づき、学年・教科主任会と連携し、生徒・保護者に進路通信・講演会等で情報発信を行い、「希望進路を作る指導」、「進路希望を実現させる指導」を行う。 【学校評価アンケート：進路指導満足度 85%以上】</p> <p>③ 進路指導部、総務部、学年が連携し、自習環境の整備・運営に努める。</p> <p>④ 進路指導部が窓口となり、中央大学オープンキャンパス南平版（中大ガイダンス）、首都大学東京オープンキャンパス、多摩地区国公立大学合同説明会を始め、各大学のオープンキャンパス・説明会を活用した指導を充実させる。</p>

	⑥ 学年は、年2回の保護者会、年2回以上の個人面談(二者、三者)を実施し、生徒や保護者の状況を把握する。
イ、データの活用、外部機関との連携による情報収集に努め、進路指導力を向上させる。 進路指導部 教科 学年	① 教員は、模試結果ソフトの閲覧による個々の生徒の状況把握を行い、進路指導部主催の各学年の模試分析会に参加し、分析結果を授業改善、生徒の面談等に生かす。 【進路指導部・学年・教科担当者全員参加】 【国公立・難関私立大学現役延べ合格者数200名以上維持】 ② 進路指導部が3学年と連携し、センター試験に向けた出願指導研究会を、職員会議で実施する。 ③ 進路指導部は、学校内外の進路研修会への参加を教員に呼び掛け、学校全体の進路指導力向上に努める。【進路指導部・2・3年担任団全員参加】 ④ 進路指導室に職員が常駐し、進路相談・外部対応を行える体制を構築する。 ⑤ 進路指導室の進路関連書籍を充実させ、常に閲覧できる体制を構築する。

(3) 心・知・体を磨く 「学校生活全般に渡って、濃やかな指導」	
今年度の取組目標	方策
ア、生活指導統一基準による生徒の自己管理能力の向上と社会の規範意識の育成、マナー育成を図る。 生活指導部 教科 学年	① 生活指導部は学年・教科担当者と連携し、時間を守る意識の醸成に向け、月ごとに遅刻生徒を集計し対策を講じる。 【生徒遅刻数昨年度比30%減(全学年合計670回以下)】 ② 生活指導部は学年と連携し、登下校時の通学マナーや挨拶、身だしなみ指導を行う。 【自転車交通事故0件】 ③ 学年は、生徒個人ロッカーを活用した所持品管理や整理整頓の指導を行う。 ④ 考査監督者は、定期考査で考査受験上の注意順守に向けて指導する。 ⑤ 生活指導部は、セーフティ教室で、交通安全、薬物乱用防止、情報モラルを扱う。
イ、部活動と学校行事の充実を図り、目標に向かって仲間と創り上げる体験をさせる。 生活指導部 学年 部活動顧問	① 担当者は、生徒の自主的な企画運営を促しつつも、著作権・安全性、事故防止等に関する適切な指導・助言を行い、質の高い学校行事を実施する。 【事故0件】【学校評価アンケート：行事満足度90%以上】 ② 体罰のない指導、質の高い指導を行う。【体罰・不適切な言動0件】 ③ 部活動顧問は、活動時間・下校時刻の厳守、部活動での週1回の休養日の設定、部員への指導・助言により、学習・学校行事・部活動の両立を進める。 【部活動加入率90%以上】【学校評価アンケート：学習と部活動の両立70%以上】 ④ 部活動年間指導計画の部員への配布、部活動保護者会開催により、部活動顧問と生徒・保護者の連携を図る。【全部活動1回以上】 ⑤ 担当者は、活動場所の戸締り・消灯・美化指導を徹底する。 ⑥ 学校内外に学校行事や部の活動を広く紹介し、生徒の励みとする。 【都大会3回戦以上進出10部以上】
ウ、人権教育と道徳教育の推進、教育相談の活用により、いじめ防止、生徒の心のケア、個別の支援教育が必要な生徒への個別の支援教育を行う。 生活指導部 学年 教育相談委員会 学校いじめ対策委員会 学校サポートチーム 特別支援教育に関する委員会	① 月に1～2回教育相談委員会を開催し、組織的に、いじめ未然防止、生徒の心のケアを行う。個別の支援教育が必要な生徒には、特別支援教育コーディネータが中心となり、特別支援教育に関する委員会で、特別、個別の支援教育を推進する。 【特別支援教育に関する委員会年14回以上】 ② 年3回のいじめ調査を実施する。いじめが発生した場合には、学校いじめ対策委員会が中心となり、学校サポートチームと連携し、迅速な対応で早期解決を図る。 【いじめ調査年3回】 ③ 人権課題や道徳課題のHR、集会、講演会等を通じて人権感覚と道徳観を養う。 ④ 教育相談、特別支援教育の校内研修会を実施して、教職員の資質の向上と共通理解を図る。【年2回】
エ、環境・美化指導を推進し、公共性に対する精神と感覚を充実させ、	① 清掃区域担当者による日々の清掃の生徒指導・清掃状況確認を徹底し、学年は、掲示物、机・椅子等が整然としているHR教室の環境を維持する。

<p>施設設備を大切にすることを養う。</p> <p>生活指導部 総務部 学年 教科 省エネ委員会 施設委員会 安全衛生委員会 経営企画室</p>	<p>【学校評価アンケート：環境整備に関する満足度 80%以上】</p> <p>② 学校全体からアカデミックな雰囲気が感じられるように、学年、教科等は、教室や廊下に生徒の活動や広報物の掲示、教科室の環境整備に努める。</p> <p>④ 総務部は施設委員会、経営企画室と連携し、職員室をはじめとし校内の施設利用状況の把握に基づき更なる環境整備及び有効活用を進める。安全上不具合が生じる場合には、学校経営支援センターと連携して早急に改善を図る。</p>
<p>オ、安全・健康の指導体制を充実する。</p> <p>生活指導部 学校保健委員会 アレルギー対策委員会</p>	<p>① 学校安全計画、保健計画を作成公開して保護者の理解にも努め、健康教育と食育への理解協力を得る。</p> <p>② 感染症、アレルギー対策等の情報共有とマニュアルを徹底する。</p> <p>【アレルギー対策委員会 1回】</p>

<p>(4) 信頼され、開かれた学校 「生徒・保護者・地域の意見の反映」</p>	
<p>今年度の取組目標</p>	<p>方策</p>
<p>ア、学校説明会、ウェブサイト、学校通信等による広報活動を推進する。</p> <p>総務部 ウェブサイト管理委員会</p>	<p>① 総務部がとりまとめ、全教職員による学校広報活動を行う。</p> <p>【全教員】 【学校説明会参加者（塾・中学校等含） 3000 名以上】 【学校見学】 1800 名</p> <p>② ウェブサイトを完全リニューアルし、日々本校の教育活動を発信する。</p> <p>【ウェブサイト更新 200 回以上】</p>
<p>イ、地域と連携した「人間と社会」、ボランティア活動の実施と充実に関わりを付ける。</p> <p>「人間と社会」推進委員会 総務部 教務部 生活指導部 進路指導部 1 学年 部活動顧問</p>	<p>① 部活動は、中学生 1 日部活動体験、地域行事への参加等、地域と連携した活動を進める。【年 1 回】</p> <p>② 「人間と社会」推進委員会は、1 学年・全分掌と連携し、日野市消防署、日野市役所、ボランティアセンター、立川防災館、地域、16 歳の仕事塾、外部講師等と連携し、教科「人間と社会」の目標である「よりよい生き方を主体的に選択し行動する力」を育成する。</p>
<p>ウ、防災教育を推進し、防災に対する意識の高揚を図り、地域や関係機関と連携して社会貢献に対する意識と実践力を身に付けさせる。</p> <p>学校危機管理委員会 防火・防災委員会 学校安全委員会</p>	<p>① 防災教育年間指導計画に基づき、全教職員で防災教育を更に推進する。非常時に備えた緊急時の連絡体制（PTA 連絡網、マチコミメール）を整備する。</p> <p>② 年 4 回の避難訓練、年 1 回の宿泊防災訓練、年 1 回の防災講話、年 1 回の防災体験、年 1 回の防災活動（避難所運営ゲーム）等を関係機関や地域と連携して実施する。</p> <p>【学校評価アンケート：防災教育満足度 85%以上】</p>
<p>エ、グローバル感覚を育成する。</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育委員会 留学委員会</p>	<p>① 「オリンピック・パラリンピック教育」の一つとして、「世界ともだちプロジェクト」の交流対象国と交流を深める。</p> <p>② 次世代リーダー育成道場等の留学希望の生徒を支援する。</p>
<p>オ、本校の魅力を生かしかつ適切な入学者選抜を行う。</p> <p>入選委員会</p>	<p>① 推薦入試では、「本校の求める生徒像」に相応しい選抜方法を実施する。</p> <p>【入選倍率 推薦 2.3 倍以上 一般 1.6 倍以上】</p> <p>② 適切な実施要項・採点要項に基づき、複数の者による複数回の点検等、全校体制で入試業務に臨む。</p>